スライド１

パキスタンの障害分野における
ネットワークの役割
NGOマイルストーンの事例

長田こずえ

名古屋学院大学　国際文化学部　教授

前　国連ユネスコ　パキスタン所長

スライド２

パキスタンとは？

スライド３

事情

1　面積

79.6万平方キロメートル（日本の約2倍）

2　人口

2億777万人（年人口増加率2.40％）（パキスタン統計省国勢調査2017）

3　首都

イスラマバード、州政府が独立している

4　民族

パンジャブ人，シンド人，パシュトゥーン人，バローチ人、その他の他民族国家

5　言語

ウルドゥー語（国語），英語（公用語）

6　識字率

58％（10歳以上を対象）（2015/2016年度パキスタン統計局）

7　宗教

イスラム教（国教）

8　政治体制

民主主義の政党政治

スライド４

Disability and Development

スライド５

障害の原因

スライド６

貧困

栄養失調、ビタミン不足

医療へのアクセス不足

予防接種の不備、例　ポリオ小児麻痺ワクチン‐世界最大の小児麻痺発生国 (イスラム過激派の嫌がらせ)

内戦、戦争、テロ

交通事故

遺伝性、特に近親結婚

女性差別と女性への暴力　－　例　ＭＡＬＡＬＡ　ＹＯＵＳuＦＺＡＩのケース

スライド７

障害の結果

障害者や家族の貧困

就学の問題

就職の問題

結婚や社会生活の問題

バリアフリーの不十分

社会的な差別、特に障害を持つ女性

法制度の不備と実施強制力のなさ

スライド８

障害者の状況

1998年の国税調査に基づくと、人口の2.49％が障害者、つまり、328万人の障害者、そのうち137万人が女性障害者

女性障害者の数が統計上少ない‐隠ぺいされた障害者

最新版の国勢調査データは頼りない

国内的には、531の特別支援教育学校が存在

国内には200以上のＮＧＯや障害者団体が障害児の教育を支援

第18次の憲法改正により、各州の自治が強化され、国家レベルでの[障害者福祉省] は廃止され、障害者の教育や福祉は各州の権限に移される

国内の格差や都市‐農村の格差

スライド９

障害者の法的支援

2011年、CRPD 国連障害者の権利条約を正式に批准する

障害者権利条約の国内モニタリングメカニズムに関しては？

障害者への差別禁止法の制定は？

既存の国内法

1981, Disabled People’s Employment Ordinance　障害者の就業に関する法律

1999, National Policy of Special Education　障害者国内政策

2006 National plan of action for persons with disabilities - Inclusive Education & Support to NGOS 　障害者に関する国家政策

2008-2009 Special citizens’ act - Public Transportation　特別ニーズを持つ人たちのための法律、主として公共交通に関するもの

現在、差別禁止法に向けての努力

スライド１０

マイルストーンの成果

•障害者に関する態度の向上

•障害者の自立生活運動 (

•障害者の社会参加を促す意識向上

•12 月 3 日、国連障害者の日のパレード

•2005 年、カシミールの大地震の被害者のためのプロジェクト ピアカウンセリングなど

•国連 世界銀行からの融資を受け大規模プロジェクト ($$$$)($$$$)－国内全土の活動

•拠点をラホールに戻し、地道な活動を継続

•車椅子プロジェクト

•ネットワーク活動に関する成果

スライド１３

MILESTONE

MR. SHAFIQ のネットワーク

•日本とのネットワーク

•ダスキンネットワーク ダスキンアジア太平洋障害者リーダー育成第 3 期生

•自立生活 ＩＬのネットワーク

•国際的、アジア地域のネットワーク

•国連ＥＳＣＡＰを中心とするネットワーク 第 3 次アジア太平障害者の 10 年

•ＡＰＣＤ アジア太平洋障害者センター 元ＪＩＣＡプロジェクトを核とするネットワーク

•国連ＣＲＰＤに関するネットワーク

•世界銀行 ワールドバンクや現地の国連とのネットワーク

•ＡＰＤＦ アジア太平洋障害者フォーラを拠点とするネットワーク

•パキスタン国内ネットワーク

•ＭＩＬＥＳＴＯＮＥ と ＪＩＣＡのリーダーシッププロジェクト卒業生が設立した、首都イスラマバードを起点とする、ＳＴＥＰ (SPECIAL TALENT EXCHANGE PROGRAMME ) のアティフ氏とシャフィック氏を中心とする国内ネットワーク

•パキスタン障害者フォーラム {PAKISTAN DISABILITY の結成とネットワーク

•パキスタン国内のＣＢＲやＣＢＩＤなどの草の根の障害活動ネットワーク シンド州の障害者団体とも交流

スライド１２

ネットワークのインパクト

ネットワークを通して限られたリソースを共有し合い、長期的、大規模なプロジェクトを可能にする

国際的、アジア地域、日本とパキスタン、国内レベルでのネットワークを強化する

訓練、情報や技術の提供と共有

グッドプラクティスの共有

ネットワークを通して資金などのリソースを手に入れることができる

ネットワークを通じて個人として、あるいは組織としてのキャパシティーを向上させ、パキスタンの顔としての国際貢献ができる　－　例えば、国連権利条約の国際会議参加など

ネットワーク　=　社会的な資源 (Social Capital) 　の形成

地元での地道な活動の継続、当事者団体としての原点

スライド１３

一緒に学びましょう